

ダンチクの表面および内部に生息するバクテリアの検出

1170276 若杉侑矢

Detection of bacteria inhabiting surface and inner tissue of *Arundo donax*

Yuya Wakasugi

イネ科の多年草であるダンチク *Arundo donax* は、世界中の温暖な沿岸領域に広く分布している。C3植物でありながら光合成速度が速く、高い耐塩性を示すことが知られている。旺盛な増殖力からエネルギー作物として期待される一方で、有害金属を取り込むことから環境浄化への利用の試みもある。高い塩濃度で貧栄養の土地でも盛んに成長することから、共生菌がついていることが考えられる。ダンチクのような大型の植物では、根系の共生菌の他に葉や茎などの地上部にも共生する菌をもつことが考えられる。そこで、ダンチクの稈鞘（節周辺の葉）の表面と組織に対し、バクテリアを検出する PCR を行い、その配列から菌群の構造を検討した。